

接種試験によるナシ黒星病耐病性個体の選抜

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹－ナシ－育種・選抜

2 担当者名

吉田小夏、芝祥太郎、額田光彦、山口奈々子、佐久間宣昭

3 要旨

二ホンナシ産地の生産振興を図るため、ナシ黒星病に抵抗性・耐病性を有し、かつ、良食味の新品種の開発が求められている。そこで、当研究所で育成した耐病性系統を用いて交雑を行い、獲得実生の中から耐病性を有する2個体を選抜した。

(1) 当研究所で育成した耐病性を有する「ナシ福島7号」を用いた交雑を行い、39個体の実生を獲得した（データ省略）。

(2) 当研究所で育成した耐病性系統である「ナシ福島7号」の後代に2020～2022年にかけて病原菌の高濃度接種試験を行い、3か年とも軽症と判断された2個体を耐病性として選抜した（表1、図1）。



図1 接種試験での耐病性個体（上）と感受性個体（下）の病斑

表1 耐病性系統を用いた獲得実生における接種試験の結果（2020～2022年）

交雑組合せ	実施年	調査 個体数	処理4週間後の発病程度別個体数 ⁷			枯死
			軽症	壊死斑	胞子形成	
20-1	2020	18	10	2	6	
×	2021	39	2	15	21	1
ナシ福島7号	2022	39	19	14	6	

注) 処理は、各個体につき年1回。

注⁷) 軽症：病徴無しや退緑斑、壊死斑：胞子形成無し黒変、胞子形成：すす化

注) 20-1：「幸水」×「筑水」、「ナシ福島7号」：「八里」×「あきあかり」

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和3～7年度

(2) 研究課題名 新品種・新技術等開発促進事業（福島県とJAグループ福島による共同事業）

5 主な参考文献・資料

(1) 芝ら、ナシ良食味系統後代への黒星病抵抗性の付与、令和2年度参考となる成果